

マスク評価結果

R2.6.13

高崎剣道教室 鈴木亜矢子

剣道教室再開にあたり、マスクの材質や形式での評価を行った（マウスガードあり）。

評価は呼吸のしやすさ等で○×△で行った。

その結果、速乾性があるメッシュタイプのものが良好な結果であった。

手ぬぐい生地や不織布タイプは場合は汗でぬれた時に呼吸がしづらくなるので注意が必要である。

ただし、鼻と口のところをつまんで縫う等、工夫して空間を確保できれば改善の余地はある。

この結果を参考に各自マスクの選定をしていただければ幸いである。

マスクの評価者は高崎剣道教室の笠井秀昭室長、岡田いずみ、松田智也、垣淵理恵の各先生でした。

	マスク形式	外観等	乾燥状態	ぬれた状態	備考
1	メッシュマスク		○	○ (すぐ乾く)	ぬれた状態でも変化なし マウスガードが少し曇りやすい
2	ウレタンマスク		○	△	音が少しこもりやすい マウスガードは曇らない 買ったものをそのまま使える
3	立体布マスク 少し小さくしたもの		○	△	内輪にかからない小さいもの 息は下、横に逃げる ずれやすい、要作成
4	手ぬぐいを 内輪と面布団の間に挟む		○ ゆるいと楽 (鼻が出る) △ ピッタリつ けると苦し い	△(ゆるい) ×(ピッタリ)	手ぬぐいの張り具合の調整が必要 子供は自分で確認する必要あり 鼻のところを少しつまんで縫うと 改善しそう
5	冷感布 (濡らすと冷たくなる布)	 このタイプで冷感布	△	△	鼻のあたりを少しつまんで縫うと 改善しそう
6	不織布マスク	一般のマスク	×	× (もっと大 変)	息苦しい